

化学物質等安全データシート
ニトロセルロース（メンブレン）

改訂日 2015年9月10日

1. 化学物質等の名称及び会社情報

製品の名称	Adeno-X GoStix
コンポーネントの名称	Adeno-X GoStix
会社名	タカラバイオ株式会社
住所	〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
担当部署	タカラバイオテクニカルサポートライン
電話番号	077-565-6999
FAX番号	077-565-6995
製品コード	632270
TaKaRa Code	Z2270N

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性

分類結果

火薬類	等級 1.1
可燃性／引火性ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外
支燃性／酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性物質および混合物	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
水と接触して可燃性／引火性ガスを発生する物質および混合物	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	区分外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない（粉塵）、分類対象外（ミスト）
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分3（気道刺激性）
標的臓器／全身毒性（反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性（急性）	区分外
水生環境慢性有害性（慢性）	区分外

絵表示：



注意喚起語：
危険有害性情報：
注意書き：

危険

爆発物；大量爆発危険性、呼吸器への刺激のおそれ

【安全対策】

静電気による引火を防止すること。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。粉碎、衝撃、摩擦のような乱暴な取扱いをしないこと。換気の良い区域で使用する。粉じんを吸入しないこと。

【応急措置】

炎が火薬類に届いたら消火活動をしないこと。火災の場合に爆発する危険性あり。火災の場合に爆発する危険性。区域より退避させること。吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

法令・規則に従って保管すること。容器を密閉して換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ニトロセルロース (Nitrocellulose)
別名	硝化綿 (Nitrocellulose)
CAS No.	9004-70-0
濃度または含有率	N/A (窒素含有率: 12.6%未満)
化学式	$(C_6H_7O_5)_x(NO_2)_{10-x-y}$
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: 8-176 安衛法:

4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:	皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石鹸又はシャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
目に入った場合:	水で数分間、注意深く洗うこと。目の刺激が持続する場合、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状:	眼の発赤
最も重要な兆候及び症状:	

5. 火災時の措置

消火剤:	大量の水、二酸化炭素、粉末消火剤、土
使ってはならない消火剤:	情報なし
特有の危険有害性:	当該製品は、着火後爆発の危険性があるため、直ちに避難する。火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。火災の場合に爆発する危険性。
特有の消火方法:	火災が爆発に至ったら消火しないこと。区域より退避させること。周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。ただし、熱にさらされている時は、移してはならない。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め完全な防護服 (耐熱性) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。一般の人を現場が見えなくなる地点まで移動させ、窓から離れさせる。関係者以外の立ち入りを禁止する。風上に留まる。区域より退避させること。密閉された場所に立ち入る前に換気する。電気雷管のある場所から100 m以内では無線発信機の使用を禁止する。
作業者は適切な保護具:	(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照) を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。
環境に対する注意事項:	環境中に放出してはならない。河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和:	漏洩物の除去や廃棄処理は専門家の指示による。
封じ込め及び浄化の方法:	機材: 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止策:	すべての発火源を速やかに取除く (近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項:	十八歳未満の者は、火薬類の取扱いをしてはならない。十八歳未満の者又は心身の障害により火薬類の取扱いに伴う危害を予防するための措置を適正に行うことができない者として政令で定めるものに、火薬類の取扱いをさせてはならない。熱、衝撃を避けること。火災の場合に爆発する危険性あり、区域より退避させること。粉碎、衝撃、摩擦のような乱暴な取扱いをしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避:	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策:	貯蔵は火薬庫においてしなければならない。貯蔵は経済産業省令で定める技術上の基準に従う。
混触危険物質:	「10. 安定性及び反応性」を参照。保管条件: 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。湿らせて保管すること。乾燥が爆発危険有害性を増加する場合は、製造又は運転プロセスのために必要な場合を除き、指定された適切な物質で湿らせて保管すること。国又は都道府県の規則に従って保管すること。
容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない。	
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：	日本産業衛生学会（2005年版） ACGIH（2005年版）	設定されていない。 設定されていない。
設備対策：	容器及び受器を接地/結合すること。この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。	
保護具		
呼吸器の保護具：	換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用すること。	
手の保護具：	適切な手袋を着用すること。	
眼の保護具：	眼、顔面用の保護具を着用すること。	
皮膚及び身体の保護具：	適切な顔面用の保護具を着用すること。	
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。	

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状、色など：淡黄色の繊維のからんだ塊	臭い：無臭
pH：データなし	融点・凝固点：データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：データなし	引火点：データなし
爆発範囲：データなし	蒸気圧：データなし
蒸気密度（空気=1）：データなし	比重（密度）：1.67
溶解度：データなし	オクタノール/水分分配係数：データなし
自然発火温度：データなし	分解温度：データなし
臭いのしきい（閾）値：データなし	蒸発速度（酢酸ブチル=1）：該当しない
燃焼性（固体、ガス）：データなし	粘度：該当しない
GHS分類：火薬類：UNRTDG クラス1.1Dに分類されている。 爆発物；大量爆発危険性（等級1.1）	

10. 安定性及び反応性

危険有害反応可能性：酸化剤、酸、塩基と激しく反応する。	避けるべき条件：乾燥、熱。
混触危険物質：酸化剤、酸、塩基、可燃性物質。	危険有害な分解生成物：窒素酸化物を生成する。

11. 有害性情報

急性毒性：	経口 ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg 区分外とした 経皮 情報なし 吸入（粉じん） 情報なし
皮膚腐食性・刺激性：	皮膚を刺激する可能性を示唆する記述があるが、具体的な症例の報告はない。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：	眼を刺激する可能性を示唆する記述があるが、具体的な症例の報告はない。
呼吸器感受性：	情報なし 皮膚感受性：情報なし
生殖細胞変異原性：	データなし 発がん性：データなし
生殖毒性：	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：	喉を刺激し、高濃度ではめまい、呼吸困難及び意識喪失をおこす可能性を示唆する記述があるが、具体的な症例の報告はない。区分3とした。呼吸器への刺激のおそれ。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：	情報なし
吸引性呼吸器有害性：	データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性：	藻類（セテナストラム）の96時間EC ₅₀ =579000 µg/Lから、区分外とした。
水生環境慢性有害性：	急性毒性が区分外である（急性毒性は低い）ことから、区分外とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	火薬類を廃棄する場合は、火薬類取締法、火薬類取締法施行規則の規定に従うこと。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報 IMOの規定に従う。	
UN No. : 3270	Proper Shipping Name : NITROCELLULOSE MEMBRANE FILTERS
Class :	
航空規制情報 ICAOの規定に従う。	
UN No. : 3270	Proper Shipping Name : NITROCELLULOSE MEMBRANE FILTERS
Class :	
国内規制	
陸上規制情報 消防法の規定に従う。	
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。	
国連番号 : 3270 品名 :	ニトロセルロース製メンブレンフィルター (窒素量が12.6%以下)
クラス :	海洋汚染物質 : 非該当
航空規制情報 航空法に規定に従う。	
国連番号 : 3270 品名 :	ニトロセルロース製メンブレンフィルター (窒素量が12.6%以下)
クラス :	

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：	該当せず。
労働安全衛生法：	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、令第18条の2別表第9）、危険物・爆発性の物（令別表第1第1号）、名称等を表示すべき危険物及び有害物（法57条1、令第18条）、危険物・爆発性の物（令別表第1第1号）、危険物・発火性の物（令別表第1第2号）
化管法（PRTR法）：	該当せず。
消防法：	第5類自己反応性化学品、ニトロ化合物（法第2条第7項危険物別表第1）
麻薬及び向精神薬取締法：	該当せず。
船舶安全法：	火薬類（危規則第2、3条危険物告示別表第1）
航空法：	可燃性物質類・可燃性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）※窒素量が12.6%以下
港則法：	危険物・可燃性物質（法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二へ）

16. その他 引用文献等

1. 改定第2版 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
2. 化学品かんたん法規制チェック「ezCRIC」日本ケミカルデータベース株式会社 Web 版（2014）
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）GHS分類結果データベース

* 当社の販売する試薬は試験研究用途に限定しております。

* 製品を取扱う前に取扱説明書をよく読んで、専門知識のある技術者、研究者が取り扱い下さい。

* 危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。